

エクステンション講座

アドバンストエクステンションプログラム

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科の教員が企画・提供する講座群です。現代社会の問題を深く、専門的に学びたいと考える市民の方を対象とします。

子どもと共に育つ社会の実現のために

子どものいる家庭の減少、働く保護者の増加、核家族化や都市部への人口流入等による地域コミュニティの希薄化などにより、家族の在り方、社会の在り方が変化してきている中で、地域社会全体で子どもを育てていくことが求められています。この講座では、現代社会において子どもを育てることがどういうことかの理解と共に、当事者や当事者以外の個人が、事業者が、まちが、社会や行政が、それぞれの立場でできることについてについて考えたいと思います。

◆開講スケジュール 木/18:30~20:30

第1回 11月29日	発達心理と脳科学の観点から子育てを理解する 講師/園田 京子 (国際子ども権利センター認定講師、臨床心理カウンセラー)
	そもそも子育てをすることはどういうことなのでしょうか。ここでは虐待や育児放棄の脳への影響も含め、発達心理と脳科学の観点から理解を深めます。
第2回 12月6日	「弧育て」の現状について考える 講師/尾木 まり (子どもの領域研究所所長、社会福祉士)
	核家族化が進み、家族の変容、地域コミュニティとの関係の希薄化が進む現代社会で孤立した状況下での子育てのことを「弧育て」と表されています。ここではその現状と社会の動きについて理解します。
第3回 12月13日	働くこと・子育てすることの両立を考える 講師/影山 摩子 弥 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科教授)
	就労と子育ての両立は、個人だけでなく企業や社会の理解と変革によるところが大きいです。ここではその理解を深めます。
第4回 12月20日	“子育て”を実現する互助・共助の形を考える ～「まち保育」という発想～ 講師/三輪 律江 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科准教授)
	子どもをまちで育てる環境づくりは、身近な地域と一緒にまちで育てていく土壌づくりでもあります。その「まち保育」という概念の理解と実践例を学びます。

受講対象 / 「子どもの育ち」「子育て支援」「まち保育」に関心のある自治体関係者、学生、大学院進学を考えている方など

受講料 / 全4回 6,200円 (本学卒業生は割引になりますので、お申し出ください。)

定員 / 30名

申込 / 事前にホームページ・電話・FAXにてお申込みください。

会場受付 / 講座開始の30分前から受け付けます。

会場 / 横浜市立大学 金沢八景キャンパス (横浜市金沢区瀬戸 22-2)  
(アクセス) 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

企画監修 / 三輪 律江 (横浜市立大学大学院都市社会文化研究科准教授)

主催 / 横浜市立大学地域貢献センター

後援 / 横浜市政策局

